

第二〇七回ペン川柳会

令和三年八月二十四日

お題 「冷・冷やす」

■ 塚田 (拿々)
ただ

冷汗を何度かいても瘦せられず
夕方に冷酒こっそり飲む至福

■ 西川 (酔雅)
すいが

冷や飯を食った分だけ強くなり
痴話げんか冷やすの忘れて呆け進み

■ 松谷 (零門)
れいもん

試乗車に妻は冷やかしオレ本気
まだ残る頭冷やせの亡父(ちち)の声

■ 八木 (明迷)
めいめい

割り勘も円まで払う冷めた仲
冷麺と呼ぶな冷やし中華だぞ

■ 山縣 (安兵衛)
やすべえ

大雨とコロナに禁酒じゃ冷えるよな
悪い夢冷や汗一斗ガバッと起き

■ 稲宮 (井波)
いなみ

灼熱禍冷えたビールが解熱剤
デルタ次々菅(さすが)策なく肝冷える

■ 三春 (火酒)
ウオツカ

明後日を向いて冷ややか今日の君
巣ごもりの冷食攻めでゴキ家出

■ 細谷（損得）

そんとく

アフガンで冷たく飛び立つ米軍機
じんましん新コロ・寒冷どちらも御免

■ 大野（だし）

コロナ禍で冷凍物が店頭に
冷凍生ワクチンにも食事にも

■ 平尾（酔深）

すいしん

恐妻の手練手管に肝冷やす
冷やすのは西瓜の筈が腹下す

世話人 塚田 實（だだ）

■ 安藤（晃二）

てるつぐ

冷たいよ揺らし呼び込む氷旗
クラブ振る振舞い氷夏冷やす

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

パンデミック政府の無策に冷たい眼
爛冷まし肴は女房の老けた顔